

支 出 書

会 派 名	誠友会	整理No.	1-1
科 目 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費    2 研 修 費    3 資料作成費 4 資料購入費    5 広 報 費    6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費    8 会 議 費    9 人 件 費 10 事 務 所 費		
金 額	340,520円		
支出年月日	令和元年5月20日		
支出内容	令和元年5月22日～24日 東京都町田市・千代田区・北区出張旅費		
支 出 先	別紙領収書とおおり		

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付).
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 稲葉誠一郎 印

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

# 領 収 書

(会派名) 誠友会

2019年5月20日

(代表者) 稲葉誠一郎 様

¥85,130

但、5月22日～24日東京都町  
田市・千代田区・北区への  
出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	47,780円	
日 当	7,750円	2.5日
宿 泊 料	29,600円	2泊
( )	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 稲葉誠一郎



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

# 領 収 書

(会派名) 誠友会  
(代表者) 稲葉誠一郎 様

2019年5月20日

**¥85,130**

但、5月22日～24日東京都町  
田市・千代田区・北区への  
出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	47,780円	
日 当	7,750円	2.5日
宿 泊 料	29,600円	2泊
( )	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 徳山威雄



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

# 領 収 書

(会派名) 誠友会

2019年5月20日

(代表者) 稲葉誠一郎 様

**¥85,130**

但、5月22日～24日東京都町  
田市・千代田区・北区への  
出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金額	摘要
交通費	47,780円	
日 当	7,750円	2.5日
宿泊料	29,600円	2泊
( )	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 能宗正洋



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

# 領 収 書

(会派名) 誠友会  
(代表者) 稲葉誠一郎 様

2019年5月20日

¥85,130

但、5月22日～24日東京都町  
田市・千代田区・北区への  
出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	47,780円	
日 当	7,750円	2.5日
宿 泊 料	29,600円	2泊
( )	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 平松正人



研究研修・調査報告書

会 派 名	誠 友 会	報 告 日	令和元年 5 月 30 日
代 表 者	稲葉誠一郎 (印)	報 告 者	能宗正洋 (印)
参 加 者	徳山威雄・稲葉誠一郎・能宗正洋・平松正人		
実 施 日	令和元年 5 月 22 日(水)～24 日(金)		
研究研修・調査等の場所	東京都 町田市 玉川学園 ・千代田区 文部科学省 北区 味の素ナショナルトレーニングセンター		
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市 発達段階に応じた学習システム等について</li> <li>・千代田区 イエナプラン教育について</li> <li>・北区 トップアスリートを育てるための施策について</li> </ul>		
◇日時	5 月 23 日(木) 9:45～12:30		
◇場所	東京都町田市 玉川学園 低学年校舎 「発達段階に応じた学習システム等について」 13:45～15:00 東京都千代田区永田町 「イエナプラン教育について」		
	5 月 24 日(金) 9:50～12:00 東京都北区西が丘 味の素ナショナルトレーニングセンター 「トップアスリートを育てるための施策について」		
◇内容とポイントのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>5/23(木) 9:45～12:30</u></li> <li>・ <u>玉川学園</u> 対応者 担当者:酒井康弘様                      説明・案内 溝口広久小学部学務主任(1～4年担当)</li> </ul>		
	玉川学園は、大学で学ぶことを視野に入れた一貫教育で、幼稚部から大学院までが一つのキャンパスにある総合学園だからできる教育システムを取り入れている。広大な敷地内には、幼稚部校舎・低学年校舎・中学年校舎・高学年校舎・大		

学教育棟・学部館がある。

可能性が広がる一貫教育システムとして、幼稚部 3 年間(年少・年中・年長)と小学校、中学校、高等学校 12 年間・・4+4+4 制と大学、大学院までだと 21 年間の一貫教育が一つの学園で学べる。

特に、小・中・高校学校の 6+3+3 を 4+4+4 制としているのが特徴(約 10 年間)。来年度からは、5+7 制度の導入に踏みきるとのこと。

この考え方は、K-12 教育と称し、大学準備教育です。12 年生(高校卒業)修了までに身につけるべきことを教科ごとに具体化し、それを達成するために各学年の内容を考えてカリキュラムが構成されている。

小学校低学年校舎(1~4 年生)を案内して頂き、各学年の授業を参観しました。各学年のクラスは、30 名(~35 名以内)で人数構成されている。各クラスには、日本人と外国人の 2 名の教師が配属されている。各学年に一般クラスと BLES クラスがあり、一般クラスでも毎日 1h×5 日間の英語授業がある。BLES クラスは、国際社会において責任ある行動をとることができる人材の基礎を培います。そのため、幼稚園・小学校段階でバイリンガル教育を実施している。

このバイリンガルクラス小学 2 年生と 3 年生の授業を参観しましたが、外国人の英語の授業に英語で返答対応しているには唖然としました。真に、英語を学ぶ、英語で学ぶ実践をされておられ、英語の習得レベルもしっかりと目標(小学校 5 年生までに英検 2 級取得が必須)を示されている。

創作・観察授業や、特に算数・理科の授業も英語で対処していることに驚きを感じました。小さな時からコツコツが、大きな力(学力)につながるものだと感心しました。

また、世界の大学へのパスポートの国際バカロレアクラス: 国際的な教育プログラムの、11 才~16 才を対象の MYP、高校の最終 2 学年を対象とした DP もあります。こういったことも鑑みて、来年度から本格的な 5+7 制度に踏みきるとのこと。5 は小学校 1 年生から 5 年生。7 は小学校 6 年生から高等学校 12 年生です。

自分のことは自分でやるという「自学自律」を教育の特徴としておられ、低学年の校舎では、チャイムが鳴りません。また、教室と教室の間に、図書コーナーがあるとか、職員室がなく、遊びや昼食も常に教師と一緒に過ごしていました。常に教員が目を配り細やかな指導をしている。

また、子供たちの主体性を引き出すアクティブ・ラーニング すなわち、自ら行動し、調べ、観察し、考えて表現する事を大切にしておられる。

休憩時間には、教室の外にあるキュウリ・茄子・トマトの苗に水やりを共同で自主的にしていました。

発達段階に応じた学習システムでは、1 年生は、暦年齢別の学級編成をしています。1・2 年生は学級担任制、3 年生からは完全教科担任制で学習指導をしておられます。

学習効果を高めるための ICT 環境も万全で、全教室に電子黒板を設置。さらに子どもと家庭、教師の三者を結ぶ学内ネットワーク「CHaT Net」を構成し、日常の連絡事項から、学習の進行状況に至るまで活発な情報交換が行われている。さらに、低学年校舎の一室に PC ルームがあり、アメリカ製(アップル社製)の PC 配備や世界各国の提携校とクラスの中で大型スクリーンによる多彩な同時通信教育(国際授業)も取り入れている。

さらに、小田急電鉄と連携して「安心グーバス」システムを導入し、登下校時の安全管理も行って、登校時、下校時、校舎内に設置した装置に定期券をかざすと、保護者の携帯電話にメールで通知されるとのこと。

## ◇まとめ

玉川学園の「発達段階における学習システム」を視察研修したが、自分自身が小学校の低学年に戻りたい気持ちにもなる程の素晴らしい教育環境、システムと、そこで学んでいる生徒(英語でいきなり good morning !! ⇒慌ててグッドモーニングと返答)を羨ましく思う時間でもありました。

私学だからできることもありますが、今回の視察研修内容を、今後の本市の義務教育学校・小中一貫校・特認校・イエナプラン教育導入等への提言進言に役立てたいと強く感じました。

以上

・ 5/23(木) 13:45~15:00  
・ 文部科学省対応者

初等中等教育局 教育課程 滝波課長  
教育課 平 専門官

今後、本市で導入予定の「イエナプラン教育」について文科省のお二人にレクチャーを受けました。

基本的には、国からの指導ではない。広島県と福山市が独自の判断で実施しようとしているものと受け止める。国内には、学習指導要領に基づく授業内容を定めるイエナプラン教育校は、国内で初めて、長野県佐久穂町の私立「大日方小学校」1校のみが現状。

イエナプラン教育は、ドイツの教育学者ペーター・ペーターセンが提唱したのが始まり。今では、オランダで普及して200校以上に取り入れられているとの事。

対話、遊び、学習、催しの四つの活動をしながら学んでいくのが特徴。児童たちの習熟度や興味に合わせて、教員の提案や指導を受けながら学ぶ内容を自らが決める。個別学習と協働学習を繰り返しながら理解を深めていくという。

定員は、1学年30名で、1~3年生と4~6年生の異年齢別に分かれて、ワールドオリエンテーションを重ねている。

児童数が足りずに複数の学年を集めて授業する「複式学級」とは目的が異なる。

文部科学省としては、昨年、人工知能(AI)などの先端技術が高度化した「Society5.0」と呼ばれる新しい社会像に向け、人材育成の考え方を掲げた。

その中で、児童生徒一人ひとりの能力や適正に応じた学習や異なった年齢と共に学ぶ重要性、協働学習の拡大を掲げている。

ということで、新しい学習指導要領と教育課程特例校について説明頂き、資料を入手した。

### ・ 新しい学習指導要領

学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように、子どもの学びを進化させるべく新たな学習指導要領をスタートする。

小学校は、2020年度~中学校は、2021年度~高等学校は、2022年度~。



子供たちの学びを進化させるポイントは、

1. 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から何を学ぶかだけでなく、どのように学ぶかも重視して授業を改善する
2. カリキュラム・マネジメントを確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図る。



- ① 学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性
  - ② 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能
  - ③ 未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など
- これら 社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランス良く育みます。

新たに取り組むこと、これからも主に重視することは、

- ① プログラミング教育
- ② 外国語教育
- ③ 道徳教育
- ④ 言語能力の育成
- ⑤ 理数教育
- ⑥ 伝統や文化に関する教育
- ⑦ 主権者教育
- ⑧ 消費者教育

## ・教育課程特例校について

教育課程特例校とは、文部科学大臣が、学校教育法施行規則第 55 号の 2 等に基づき、学校を指定し、学校や地域の特色を生かした特別の教育課程を編成することが可能となる。 ※予算措置はなし

## 指定の要件

- 学習指導要領等において全ての児童又は生徒に履修させる内容として定められている内容事項が、特別の教育課程において適切に取り扱われていること。
- 総授業時数が確保されていること
- 児童又は生徒の発達の段階並びに各教科等の特性に応じた内容の系統性に配慮がなされていること。
- 保護者への経済的負担への配慮その他の義務教育における機会均等の観点から適切な配慮がなされていること。
- 児童又は生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていること。

## 指定状況 (平成 30 年 4 月現在)

○指定されている管理機関数

263 校

○指定されている学校数 2,726 校

○主な取組内容

- ・ 早期(小学校低学年～等)又は独自の英語教育
- ・ 既存教科を英語で実施(イマージョン教育)
- ・ 「ことば」に関する取組
- ・ ふるさとや強度に関する取組

※取組の具体例

- ・ 埼玉県さいたま市 グローバル・スタディ科
- ・ 広島県広島市 言語・理数運用科
- ・ 熊本県玉名市 玉名学 等

## ◇まとめ

今回の文部科学省の教育課程専門官からのレクチャー内容を、今後の本市の義務教育学校・小中一貫校・特認校・イエナプラン教育導入等への提言進言に役立てたいと思います。

以上

5月24日(金) 9:50～12:00

東京都北区西が丘 味の素トレーニングセンター  
「トップアスリートを育てるための施策について」

日 時：令和元年5月24日

場 所：東京都北区 味の素ナショナルトレーニングセンター

目 的：トップアスリートを育てるための施設について

対応者：公益財団法人 日本オリンピック委員会 名誉委員

赤木 恭平 氏

公益財団法人 日本オリンピック委員会 強化部強化第二部 部長

中森 康弘 氏

＜味の素ナショナルトレーニングセンター＞

2008年1月に様々な競技のための施設が全面供用を開始され、「トレーニング」「栄養」「休養」の競技力向上の三原則に基づき設計された最新設備と実践的なサポートプログラムによって、アスリートをあらゆる角度から総合的に強化することを目的とし、オリンピック・国際競技大会等で活躍するトップアスリートを育てています。

屋内競技を中心に競技別に、目指す大会にあわせて器具を入替え、できるだけ本番と同じ器具での練習を行っている。又壁には大型スクリーンが設置され、映像遅延装置を使用し、その場ですぐ確認ができるようになっている。

バトミントンコートでは、空調の風もシャトルにできるだけ影響しないように超微風となるように設計されていますが、扇風機を利用し、異なる環境においても実力を発揮することができるよう設計されている。

供用施設として、トレーニングルーム・25mプール(ジャグジー水風呂・人口

炭酸泉浴槽)・120名収容の研修室がある。

448名宿泊可能なアスリートヴィレッジには、宿泊室、栄養管理食堂に加えJOCエリートアカデミー生が寄宿する専用エリアを設け、小学校へ通いながら日々のトレーニングに励める環境を備えている。

本市においても競技スポーツの振興、アスリートの育成に取り組まれています。本市からオリンピック代表選手、日本代表選手を輩出するべき取組を考え直す必要を感じました。

やはり重要なことは、ジュニア競技者に対し、最高の環境のなかで集中的な育成・強化を行うことである。

そのためには、優れた素質を有するジュニア競技者を発掘し、一貫指導システムの基でトップアスリートとして育てなければなりません。

本市が本当にトップアスリートを育てようとするならトップコーチの招聘ができるかどうかである。

新総合体育館の完成がまじかではありますが、重要なことは体育館の付属の設備がいかに高度な施設課が大切でしょう。宿泊設備、トレーニングジム、ジャグジープール、カロリー計算された食堂、理学的見地を持たれたトレーナーを揃えられるかだと思います。総合体育館が大学の合宿、企業の合宿などレベルの高い競技スポーツへの対応を今後も求めていきます。

以上

支 出 書

会 派 名	誠友会	整理No.	1-2
科 目 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費    2 研 修 費    3 資料作成費 4 資料購入費    5 広 報 費    6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費    8 会 議 費    9 人 件 費 10 事 務 所 費		
金 額	59, 380 円		
支出年月日	令和元年 9 月 25 日		
支出内容	令和元年 9 月 30 日～10 月 1 日 鹿児島市への出張旅費		
支 出 先	別添領収書通り		

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 <span style="float: right;">印</span>

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

# 領 収 書

(会派名) 誠友会

2019年9月25日

(代表者) 稲葉誠一郎 様

¥59,380

但、9月30日～10月1日鹿児島市への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました



	金 額	摘 要
交 通 費	38,380円	
日 当	6,200円	2日
宿 泊 料	14,800円	1泊
( )	円	

(会派名) 誠友会

(名 前) 稲葉誠一郎



研究研修・調査報告書

会 派 名	誠友会	報 告 日	令和元年 10 月 14 日
代 表 者	稲葉誠一郎 	報 告 者	稲葉誠一郎 
参 加 者	稲葉誠一郎		
	-----		
	-----		
実 施 日	令和元年 9 月 30 日～令和元年 10 月 1 日		
研究研修・調査等の場所	鹿児島市中央卸売市場		
目 的	市場の運営について		
	-----		
	-----		
研究研修・調査等の概要			
視察時間	令和元年 10 月 1 日午前 5 時 30 分～9 時 30 分		
説明者	鹿児島市中央卸売市場 魚類市場長 迫 裕一 主幹 薬師寺俊孝 主査 横山 中 主任 坂本桂司 主事 迫 佑樹 青果市場長 祝井敏明 係長 高橋秀幸 主査 児之原博寿		
開設	開設日 昭和 10 年 11 月 3 日		
規模等	敷地面積 30, 151 m <sup>2</sup>		
	延べ床面積 20, 486 m <sup>2</sup> (建築面積 82.493 m <sup>2</sup> )		
	駐車場面積 1, 746 m <sup>2</sup> (場内) 4, 311.58 (場外)		

卸売業者等

青果（令和元年 9 月 1 日）

卸売人 2 社

仲卸人 25 社

売参人 127 社

水産（令和元 7 月 1 日現在）

卸売人 2 社

仲卸人 29 社

売参人 85 名

関連事業者

青果 第 1 種(保管・貯蔵・運搬業など) 17 業者、  
第 2 種（飲食・雑貨店など）8 業者を許可  
している。

魚類 第 1 種(保管・貯蔵・運搬業など) 7 業者、  
第 2 種（飲食・雑貨店など）5 業者を許可  
している。

取引高（平成 29 年）

青果市場	野菜	(145, 649 トン)	25, 955, 995 千円
	果実	(23, 338 トン)	8, 190, 080 千円
	加工品	(1, 687 トン)	234, 915 千円
魚類市場	鮮魚	(21, 014 トン)	12, 701, 994 千円
	冷凍魚	(1, 369 トン)	1, 223, 325 千円
	その他	(2, 203 トン)	2, 323, 869 千円

協議会

場運営協議会 年 1 回開催 青果市場と青果市場と合同  
間取引委員会 随時開催、各市場ごと設置  
売買取引に関し必要な調査審議  
魚類市場連絡協議会 関係業界が、自主的に秩序保持に協  
力し、市場の発展に寄与するため設置  
された協議会

売参人の推移について

年数件の承認取消があるが、3 年に 1 回、3~6 社程度の新  
規参入があるため、全体としては微減

市場見学の状況

平成 30 年度	青果	33 軒	1, 130 人
	魚類	324 軒	2, 762 人

施設及び設備等の維持・修繕について

令和元年度施設維持管理予算 163,483 千円

昭和 51 年現地に移転と言うことで、福山市場よりも建設は遅いが計画的に整備されている。また、市場開放などを行い、消費者にも市場の存在をアピールし、存続に向け努力されている。中央卸売市場と地方卸売場市場の違いはあるが、備後地方の食材供給のためには必要不可欠な福山市場の将来計画を早急に策定し、計画的な長期運営に取り組む必要が有る。